

5. 各国際WGの活動状況

[2008/03]

WG1 (用語)	<p>2005年3月にTS(技術仕様書)IEC62282-1を発行。2005年12月の第6回全体会議(フランクフルト)でスコープの拡大が提案・承認され、改正作業を進める事になった。(現仕様書の用語数:74)。日本からはJIS C8800(燃料電池発電用語)改定案を提出済み。(用語数:200)。米国SAE、欧州(FCTESTNET)の案も合わせて2006年6月から改訂作業が開始されており、現在は第2版案としてCDが発行されている。</p> <p>(予定)</p> <p>WG1では、5月上旬にCD審議のための会議開催</p> <p>2009年12月に第2版(IS)発行予定。</p>
WG2 (FCモジュール)	<p>2004年7月に燃料電池関係の最初のIEC規格としてIEC 62282-2発行。審議過程で各国から出されたコメントをもとに部分改正案を作成し、2007年2月にAmendment発行。</p> <p>(予定)</p> <p>次回改訂予定:2010年</p>
WG3 (定置用FC安全)	<p>審議遅れのためNP再提出という経過を経て、2005年5月にCDVが回覧され、CDV投票時に提出された多数のコメントへの対応審議を経て、2007年3月にFDISが回覧され、各国投票により可決された。2007年4月にIEC62282-3-1として発行された。</p> <p>(予定)</p> <p>次回改訂予定:2010年</p>
WG4 (定置用FC特性試験)	<p>2006年3月 国際規格IEC 62282-3-2発行。</p> <p>パリ会議(2007-10-25,26)に改訂計画案を報告・了承。</p> <p>(予定)</p> <p>次回改訂予定:2010年</p>

各国際WGの活動状況(続)

WG5 (定置用FC設置)	WGコンビーナ交代などで審議が遅れていたが、2007年8月 FDIS発行。2007年11月 国際規格IEC 62282-3-3発行 (予定) 次回改訂予定:2011年
WG6 (移動体用FC [除自動車])	2007年10月のパリ会議で、自動車用FCを除く特殊車用FCの提案の可能性を審議するためのAd hoc WGを設けることが決定された。
WG7 (ポータブルFC)	ポータブル(可搬型)燃料電池発電システムの「性能要件」についての審議は時期尚早として作業保留。2007年2月に安全要件についての国際規格(IEC 62282-5-1)発行。 (予定) CDV審議時に提出されたコメントで未処理なものがあり、アmendメントでフォローを行う予定 次回改訂予定:2009年

各国際WGの活動状況(続々)

<p>WG8 (マイクロFC安全)</p>	<p>元々は、メタノール燃料を対象としていたが、毎回、様々な燃料が検討対象に追加となり、現在では、蟻酸、水素、水素吸蔵合金、ブタン、ホウ化水素など。2007年10月にCDV投票を〆切、賛成多数で承認(反対は2カ国)。CDVに対して300以上のコメントが出され、10/22～10/24のWG8でその対応審議を全て終了した。日本の意見はほぼ採用された。現在はFDIS原稿作成中。</p>
<p>WG9 (マイクロFC性能試験)</p>	<p>11月14日に国際規格としてIEC62282-6-200が発行された。ただちに次のステップとして、メタノール以外の燃料に関する規定などの追加に向けて、2008年2月に改訂のためのWG会議を開催した。</p>
<p>WG10 (マイクロFC互換性)</p>	<p>CDVが1月18日に発行された。投票期限は6月20日。CDVに対する各国意見審議のため7～9月に次回WG会議を開催予定</p>
<p>WG11 (PEFC単セル試験法)</p>	<p>日・米・欧共同でTS(技術仕様書)と提案、2007年3月承認。H18年度のJEMA試験法調査WGでとりまとめたドラフトを2007年5月回付。2007年6月第1回国際会議、同年12月第2回会議にてコメント審議終了。 (予定) CD 2008年4月。DTS 2009年4月。TS発行2010年</p>